

全国瞬時警報システム(J・アラート)が作動した際の対応について

平素は、本校教育にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

みだしの「全国瞬時警報システム(J・アラート)」につきましては、報道等でもすでに周知されているところですが、万一の事態を想定し、児童の安全確保に向けて、基本的な対応を下記のとおりとします。様々な場面が想定されますので、保護者の皆様におかれましても、児童の安全が確保できますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

基本的な対応は、兵庫県教育委員会が示している「対応例及び行動例」に沿って、次の要領で行うこととします。

しかしながら、登下校中のように、児童だけで屋外等にいる場合は、J・アラートの情報を得られないことも想定されます。万一の場合、児童の安全確保のためには、通学路や公園の近くにお住いの方から、子どもへの声かけや建物への避難を促していただくなど、様々な場面で、保護者や地域の皆様のご協力が必要となります。日頃から、J・アラートが作動した際の対応について、家族等で話し合いをしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

1 登校前に、J・アラートが作動し、安全が確認できない状況の場合

○安全を確保して「自宅待機」

※安全が確認できれば、「小野小一斉メール」等でその後の対応について連絡します。

2 在校中に、J・アラートが作動し、安全が確認できない状況の場合

○教職員が次のように避難誘導を行い、児童の安全を確保

※引き渡し等の対応については、「小野小一斉メール」等で連絡します。

①校舎内で活動中	できるだけ窓から離れ、待機。(カーテンを閉める。)
②校舎外で活動中	速やかに校舎内(建物)に避難し、待機。
③社会見学等の校外活動中	引率教員が頑丈な建物(地下)へ避難誘導、建物等に避難できない場合は物陰に身を隠すか、地面に伏せ、頭部を守る。

3 登下校中に、J・アラートが作動し、安全が確認できない状況の場合

○可能な限り複数で、各自、頑丈な建物へ避難するか、建物等に避難できない場合は物陰に身を隠すか、地面に伏せ、頭部を守り、安全を確保する。

4 下校後に、J・アラートが作動し、安全が確認できない状況の場合

○可能な限り複数で、各自、屋内ではできるだけ窓から離れ、屋外では頑丈な建物へ避難するか、建物等に避難できない場合は物陰に身を隠すか、地面に伏せ、頭部を守り、安全を確保する。

《参考資料》内閣官房国民保護ポータルサイト

<http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryu/nkjalert.html>

◆留意事項

冷静に落ち着いて行動する。

正しい情報をもとに、可能な限り複数で対応する